

山梨県水産技術センター・研究課題事前評価表

山梨県水産技術センター課題評価委員会(2011.9.27)

試験・研究課題名:ワカサギふ化仔魚の絶食に伴う組織学的変化

大課題名:資源管理技術の開発

小課題名:ワカサギの初期減耗機構の解明

細目課題:ワカサギふ化仔魚の絶食に伴う組織学的変化

担当者名:主任研究員 岡崎 巧

評価項目	評価点	指摘事項
1 課題設定の必要性 (背景、社会的ニーズ)	5 / 5	ワカサギは貴重な観光資源であり、研究の必要性は高い。
2 課題の新規性、独創性	4 / 5	従来からの研究テーマであるが、引き続き課題に取り組んで頂きたい。
3 目的・内容の整合性 妥当性	4 / 5	ワカサギのみならず、餌であるプランクトンについても検討して頂きたい。
4 研究手法の的確性、 技術的可能性	5 / 5	研究手法は的確である。
5 成果の期待度	5 / 5	富士五湖の観光漁業の振興のため、大いに成果に期待する。
総合評価	4.6 / 5	河口湖における不漁の原因解明に努めて欲しい。

「注」 評価点の目安

評価	高い	やや高い	普通	やや低い	低い
点数	5	4	3	2	1

試験研究機関の処置

河口湖におけるワカサギ不漁の原因の解明を実施していく。  
幼稚魚期の餌はワムシであるが、餌の動向も調査していきたい。